

【6年生】ももたろう（英語劇）

小学校最後の発表となる6年生は、得意の英語を生かした「ももたろう」セリフは全部英語です。自分たちでセリフも考え、ジョー先生やオリバ先生に協力していただきながら、創り上げました。テンポのよいおじいさんおばあさんの掛け合いや、ICTを利用したオリンピックのような鬼たちとの戦い、今をリアルに生きる子供たちの本気の思いが伝わってきました。



6年生の劇「ももたろう」は大成功だと思いました。最後に1～5年生まで全員がステージに来てくれるのは予想外のことでした。初めに5年生のゆうとさんが来てくれて、とてもびっくりしましたが、6年生は今まで練習してきたことを変えて「カモン、カモン」と言い続けることができたのは6年生の下級生に対する優しさだと思いました。（高橋明花梨さん）



「全学年がたくさん練習して、間違っても見守ってあげたりして優しいなと思いました。6年生の劇では、うまくいかないことがあっても、協力してがんばりました。最後にみんなが集まってくれて最高のフィナーレでした。とても感動しました。」

閉会の言葉 6年 佐藤綾音（あやね）さん

4年ぶりに、多くの方々に集まっていただき、西川っ子まつりを開催することができ、とてもうれしく思います。みんなで1つのものを創り上げることの大切さ、みなさんの発表を見て、すごいなと感動しました。発表のすばらしさはもちろん、今までにない、学校が、会場が、子どもも大人もみんなが1つになった素晴らしい西川っ子まつりになりました。みなさんに大きな拍手を送ります。



紙漉きに挑戦6年生 卒業証書を自分たちの手で



11月7日（火）6年生は大井沢伝承館のシブヤナオコさんを講師にお招きして、紙漉きの体験をしました。

4月から総合的な学習の時間に、牛乳パックでの和紙作成に取り組むなど、月山和紙の文化に興味を持って学習してきました。今回は本格的な紙漉きに挑戦するというので、自分の卒業証書となる和紙を一人一人が漉くことになりました。校章のすかしの入った、世界に一つだけの卒業証書です。

テレビや新聞の取材もあり、子どもたちは、「卒業するのは寂しいけれど、自分で漉いた紙が卒業証書になるのはとても楽しみ。」と感想を話していました。いよいよ卒業を意識する季節となりました。